

J A P A N E S E

SAKE FAIR 2017

日本酒フェア 2017



国民的日本酒イベント。今年もヒートアップ



第11回「全国日本酒フェア」のにぎわい

國酒・日本酒の全貌を紹介する「日本酒フェア 2017」が6月17日、東京・池袋のサンシャインシティで開催され、一般の日本酒ファンや流通・料飲店関係者らおよそ6,600人もの来場者でにぎわいました。世代、性別、国籍を超えた幅広い来場者の超人気イベントは、今年も終日ヒートアップ。



平成28酒造年度 全国新酒鑑評会「公開きき酒会」の会場風景

11 回目迎えた日本酒祭典。各国大使ら招き前夜祭を開催



「日本酒フェア」は、① 全国新酒鑑評会の入賞酒を網羅した「公開さき酒会」（主催＝日本酒造組合中央会／後援＝国税庁、観光庁、内閣府知的財産戦略推進事務局）と、② 45 都道府県の酒造組合が自慢の地酒を集めて試飲・販売を行う「全国日本酒フェア」（主催同。後援は前記のほか〔独法〕酒類総合研究所）が合体した、年に一度の日本酒の祭典。11 回目を迎えた今回は、本番前夜に各国駐日大使館関係者やメディアの関係者などを招いてプレイベントを初開催したほか、本番当日も、来場者全員参加による一斉乾杯、ベテラン杜氏&女性杜氏らによる日本酒セミナーなどをまじえ、話題性一杯のイベントを展開。ある蔵元関係者は「3 年前に土曜日開催になってから若者、外国人、夫婦、父親と息子などのグループが増えている。ファミリーイベントのような賑わいだ」と話していました。



前日となる 6 月 16 日に開催された日本酒フェアプレイベントでの鏡開き。各国大使のほか、ノーベル生理学・医学賞受賞者の大隅良典博士(右端)も参加して特別講演を行いました。



■日本酒や酒器などが当たる抽選コーナーも、毎年的人气企画。



■好みのお酒をゲットしたら、宅配便で自宅へ。「お中元代わりに知り合いに送ります」という人も。



■日本酒スタイリストの島田律子さん(右 2 人目)とミス日本酒 2017 の田中梨乃さん(右端)、日本酒マスコット・おちよくんと共に、参加者全員が「日本酒で一斉乾杯！」(13:00 と 18:00 の 2 回実施)

■毎年人気の「日本酒セミナー」。今回のプログラムは、第 1 部が、①「世界に伝えよう、日本酒の魅力！」(日本の酒情報館の今田周三館長)、②「平成 28 酒造年度の全国新酒鑑評会について」(酒類総合研究所 品質・評価研究部門長の藤井力氏)。そして第 2 部が、①「もっと美味しく、日本酒と料理のペアリング」(日本酒スタイリストの手島麻記子氏)、②「酒造り今昔～ベテラン杜氏と女性杜氏との対談～」(佐賀県(名)松尾酒造場の井上満杜氏と岩手県(有)月の輪酒造店の横沢裕子杜氏)の 4 題。

日本酒の魅力語り尽くした今田氏、「今年の酒はきれいで雑味がない」と鑑評結果の概要を説明した藤井氏、西洋料理と日本酒の相性を試食・試飲を交えて説明した手島氏、女性杜氏の活躍にエールを送った井上氏と横沢氏の対談、それぞれのお話に参加者は熱心に耳を傾けていました。





平成 28 酒造年度全国新酒鑑評会「公開きき酒会」の様様



「全国新酒鑑評会」は、日本酒の酒質と技術の向上を目的に 1911 年にスタートした最も権威ある日本酒の鑑評会で、今年（平成 28 酒造年度）で 105 回目。今回は、総出品数 860 点のうち 437 点が入賞、うち 242 点が金賞を受賞しています。日本酒フェアの「公開きき酒会」は、その鑑評結果をいち早く一般に紹介するもので、今回も、地域別 8 ブロックに分けて入賞酒のほぼすべてを一挙公開（第 1 部＝10:00～13:00、第 2 部＝15:30～18:30。完全入替制）。会場には「酒造技術の成果」を体験しようとおおぜいの来場者が押し寄せ、きき猪口と出品リストを手にしき酒を楽しんでいました。



開場前から長蛇の列



■一般の日本酒ファンも、酒や飲食のプロも、真剣な表情できき酒



■酒類総合研究所コーナー。パネル展示や各種パンフレットで酒造に関する様々な知識を紹介しました。

■未だに残る風評被害払拭へ、日本酒の安心安全を PR



■これが日本産の証。日本産表示統一マークの意味もきっちり PR。



■女性のきき酒姿もあちこちに。



■外国人の来場者は年々増加中です。



第11回「全国日本酒フェア」。45都道府県の地酒が総結集



「全国日本酒フェア」には、鹿児島、沖縄を除く45都道府県の地酒およそ約800点が総結集。工夫を凝らしたブースを並べて、出品酒の試飲と販売、特産物の販売、おつまみ試食などを交え、地域色一杯の来場者サービスを繰り広げました（他に日本酒造協同組合連合会など関係6団体と、漬物、珍味、調理食品の協賛3団体が出展）。入場は今年も2部入替え制（第1部10:00~14:00/第2部15:30~19:00）で、来場者からは「会場が広がって試飲しやすくなった」との声も。また、各ブースの看板に中央会が参加している「beyond2020プログラム」の認定マークを統一表示し「2020年以降を見据えた地域文化のレガシー創り」という姿勢をアピールしたことも今年の特徴。県組合の担当者は「11年連続出展して、ファン層の広がりを実感している。まさに継続は力なりです」と手応えを語っていました。



■浴衣や揃いのTシャツ、法被、ゆるキャラグッズなどをまとった蔵元関係者や県組合の職員が、大車輪の来場者サービス



■会場では様々な展示企画も人気を集めました。①日本各地の酒蔵を描いたスケッチ画家・加藤忠一氏の作品を集めた酒蔵淡彩スケッチコーナーは、今年初めての企画 ②各地域の酒蔵ツアー情報の紹介した酒蔵ツーリズム PR コーナー ③「日本酒で乾杯デジタルフォトコンテスト」入賞作品の展示コーナーでは、日本酒で乾杯推進会議の会員募集も ④歴代総理の「國酒」揮毫色紙コーナー。



■イートイン(軽食)コーナーも大忙し



・全国新酒鑑評会の出品点数の多いのにビックリしましたけど、全国日本酒フェアもすごいですねえ。試飲し切れません。来年は3日間のイベントにしてください。それと、イートインももっと大きくしてほしい。(「全国日本酒フェア」の会場で。一般、女性)

・禁酒明けです。やっとドクターのお許しが出て、最高に幸せな気分。最初に飲むなら日本酒しかないでしょ。というわけで3年ぶりに参加しましたが、以前より会場が広くなったように思います。試飲しやすくなった感じ。(「全国日本酒フェア」の会場で。一般、男性)

・2月にアメリカから来たばかり。ソフトウェアの開発をしています。仕事柄お酒はよく飲みます。今日は職場の日本酒好きと一緒に来ました。アメリカでも日本酒は飲めるけど、こんなにおいしい酒は飲んだことない。(「公開き酒会」で。米国、男性)



・初めて参加しました。新酒鑑評会って何なのかよく知らなかったけど、料金前払いで好きなだけき酒できるシステムがとてもいいと思います。それと、合間にちょこちょこ水(和らぎ水)を補給できるのも、細かい心配りでいいなと思いました。(「公開き酒会」で。一般、女性)。

自分の目指す酒造りを確認できて勉強になります。



日本酒フェア 2017



和らぎ水の用意は、細かい心遣いですね。



・手島さんのセミナーは、日本酒の懐の深さを感じました。私自身は和食の酒肴が多いですが、いろいろ挑戦してみたいなと思いました。井上さんと横沢さんの杜氏対談はとてもよかったです。女性の頑張りがうれしく感じました。(「日本酒セミナー」の会場で。一般、女性)。

・私は3回目。友だちは2回目。とてもいいイベントだと思うし、お得感も高いですね。注文があるとすれば、300ミリットルの商品をもっと増やしてほしいこと。各県のいろいろなお酒をちょっとずつ試してみたいので。(「全国日本酒フェア」で。一般、女性)。



・蔵元に務めています。自分がこれからどんな酒造りを目指すのか、他の地域の酒を知ることで確かめられるので、このイベントは大変勉強になります。全国日本酒フェアも、県によって人の集まりが違うのは何故なのか考えると面白い。(「公開き酒会」で。酒造業、男性)。



・ニューヨークから日本に来て2年。近所に住んでいるので、昨年も参加しました。アメリカ人はビールやウイスキー党が多いイメージだけど、日本酒も大好きよ。いっぱい試飲したので、日本酒マニアになりそう。(「全国日本酒フェア」で。米国、女性)



第11回「全国日本酒フェア」

各県酒造組合・関連団体・協賛団体の出展風景

① 都道府県酒造組合（連合会）のブースから



北海道



青森県



岩手県



秋田県



宮城県



山形県



福島県



群馬県



栃木県



埼玉県



茨城県



千葉県



東京都



神奈川県



山梨県



長野県



新潟県



福井県



石川県



富山県



静岡県



愛知県



三重県



岐阜県



滋賀県



京都府



大阪府



奈良県



和歌山県



兵庫県



岡山県



広島県



鳥取県



島根県



山口県



愛媛県



香川県



徳島県



高知県



福岡県



佐賀県



長崎県



大分県



熊本県



宮崎県



② 関連団体のブースから



一般社団法人 awa 酒協会



東京農大花酵母研究会



長期熟成酒研究会



全国燗酒コンテスト



ワイングラスでおいしい日本酒アワード



日本酒造協同組合連合会

③ 協賛団体のブースから



全日本漬物協同組合連合会



全国珍味商工業協同組合連合会



全国調理食品工業協同組合

